

# こうげ 82 議会

2026.5



令和8年 第1回 定例会(3月議会)

会期：令和8年3月3日(火)～13日(金)

## 「2040年人口1万人」の実現に向けて

令和8年度 町の予算 **総額 55億4800万円可決!** ..... 2

議案議決結果及び議員別賛否一覧表 ..... 4

**一般質問** **ここが聞きたい! 6人登壇** ..... 5

**報告** 福岡県町村議会議長会研修会 ..... 11

住民登場コーナー・表紙によせて・議会傍聴のご案内・編集後記 ..... 12

## 住民登場 コーナー

interviewer 廣崎 誠治

### 子どもたちに家具を含めた家の中や空間インテリアに興味を持ってもらいたい

土井純平・由紀子さんご夫婦(宇野東区)

- Q 上毛町に住んでどれくらいですか?
- A 2014年から11年間住んでいます。私は宗像出身、妻は上毛町成恒出身です。
- Q 上毛町の好きなところは?
- A 自然が豊かで、地域の人が温かいところです。
- Q 議会、行政への期待は?
- A (純平さん) 子どもが生き生きでき、過ごしやすいことと、もっと教育にお金を使ってほしいです。  
(由紀子さん) 農業で、自給自足でき、子どもたちがこれからの農業をやるとうとする環境づくりを期待します。

今回の住民登場は、豊前市久路土でオリジナル家具製作販売や喫茶店を営んでいる「スタンプフアニチャー」オーナーの土井さんご夫婦です。

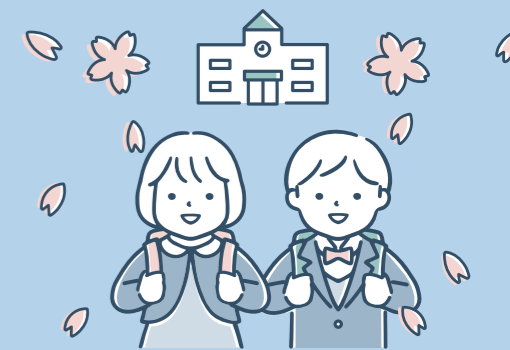


## 表紙によせて

### 新1年生を迎えて

1年生が入学してきて、とても嬉しいです。毎日、朝の準備のお手伝いをしています。1年生に、楽しく、安心して、学校生活を送ってほしいので、頼りになる6年生になって、いろいろなことを教えてあげたいです。

唐原小学校 6年 上野 想一朗



## 議会傍聴のご案内

### 6月定例会の予定

**6月2日(火) 午前10時**

本会議(開会、議案の説明・質疑)

**6月4日(木) 午前10時**

本会議(一般質問)

**6月12日(金) 午前10時**

本会議(討論・採決)

日程については、変更になる場合があります。

会期日程は、議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

■開催場所 上毛町役場大平支所2F議場

## 編集後記

大石 光一

本号が発刊される頃は、風薫る5月となり、ご健康にてお過ごしのことと存じます。

さて、上毛町3月定例会は予算議会で、令和8年度の上毛町の事業に関わる予算の認定や令和7年度の一般会計補正予算も審議され、すべての議案において可決されました。また、一般質問では、6名の議員が質問を行いました。

編集メンバー7人で力を合わせ、見やすい、読みやすい、分かりやすい紙面づくりを心掛けて作成しました。ぜひとも、ご一読をお願いします。

■議会広報特別委員会  
委員長：三田 敏和 副委員長：高西 正人  
委員：田中 唯登志、廣崎 誠治、岩花 寛之、大石 光一、渡辺 哲也

●ご意見・ご感想をお寄せください(FAX 0979-72-2033) ✉ gikai@town.koge.lg.jp

### 3 心から笑顔で輝くまちへ (安全・安心と優しい暮らしの実現)

●総務管理費、社会福祉費、保健衛生費、環境衛生費、公園費、消防費などの予算で目標達成へ。

**新規** AED屋外収納ボックス購入事業 ..... 52万円  
休日や夜間でもAEDが使用できるように環境を整備する。

**新規** 小児・AYA世代がん患者在宅療養生活支援事業 ..... 32万円  
自宅で安心して生活が送れるように在宅支援を行い、本人と家族の身体的経済的負担の軽減を図る。

**新規** 携帯型緊急通報装置貸与事業 ..... 29万円  
携帯型の緊急通報装置の貸与で、急病などの緊急時に迅速且つ適切な対応を図る。

**新規** 地域防災計画更新事業 ..... 750万円  
変化し続ける災害リスクに対応するため、町の現況や最新防災気象情報等に則した計画への更新。

**新規** 行方不明高齢者等位置情報提供サービス事業 ..... 7万円  
事故の未然防止や行方不明時の早期発見を図る。

### 4 輝くまちの基盤づくり (住みやすいまちの実現)

●総務管理費、上下水道費、道路橋梁費などの予算で目標達成へ。

**継続** コミュニティバス・築上東部乗合タクシー運行事業 ..... 2246万円

**継続** 浄化槽設置整備事業 ..... 2264万円

**継続** 電子入札システム導入事業 ..... 80万円

**継続** 道路新設改良事業 ..... 7375万円

**継続** 生活用水給水施設整備事業 ..... 390万円

### 5 その他持続可能なまちづくりに必要な独自策

●総務管理費、ふるさと納税推進費、商工費などで目標達成へ。

**新規** 公金収納デジタル化対応事業 ..... 1451万円  
公金収納方法のデジタル化の流れに対応し、支払う方々の利便性の向上を図る。

**継続** ふるさと納税事業 ..... 1億4987万円

**継続** 上毛町プレミアム商品券事業 ..... 2000万円

## 令和8年度一般会計予算

前年度に比べ2億3800万円減額

可決

予算額

# 55億4800万円

令和8年度上毛町の町政運営のための当初予算を審議し、可決しました。2040年人口1万人の実現に向けて、目標とする未来予想図から現在に遡って必要な施策を展開していく予算内容です。

### 「2040年人口1万人」の実現に向けて

## 5つの重点施策

### 1 たくさんの人で輝くまちへ (定住・交流人口の増加と社会参加)

●企画費、農業振興費、林業振興費、商工振興費などの予算で目標達成へ

**継続** 第3次上毛町総合計画及び第3期上毛町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業 ..... 1182万円

**継続** 荒廃森林整備事業 ..... 547万円

**継続** 上毛産品プロモーション事業 ..... 90万円

**継続** 創業促進支援等事業 ..... 600万円

**新規** 上毛町地域産材活用促進事業 ..... 1500万円  
地域産材の京菜ヒノキの活用促進と安定的な木材需要の確保を図る。

**新規** 大池公園飲食施設等整備事業 ..... 3695万円  
賑わいの場を創出し、公園利用者の利便性向上や交流人口増加を図る。

### 2 子どもが輝くまちへ (子育て支援・教育の充実)

●児童福祉費、保健衛生費、教育総務費、国際交流費などの予算で目標達成へ。

**新規** 乳児等通園支援事業 ..... 108万円  
すべての子育て家庭に対して支援を強化。大平保育所で受け入れ体制を整える。

**新規** 南吉富小学校トイレ改修事業 ..... 5531万円  
洋式化、乾式化工事を行い、教育環境の充実を図る。

**拡張** 子ども医療対策事業 ..... 3619万円  
高校生世代までの医療費の本人自己負担額の無償化を行い、福祉の増進を図る。

**新規** 上毛中学校トイレ改修事業 ..... 739万円  
洋式化、乾式化改修工事のための実施設計を行う。

**継続** 産後ケア事業 ..... 69万円

**継続** 少年海外体験学習事業 ..... 1987万円

**新規** 学校のあり方検討事業 ..... 27万円  
少子化の現状と課題を踏まえ将来を展望した教育環境整備等を検討する。

## 令和8年第1回臨時議会

令和8年1月8日に開催されました臨時議会で、物価高騰に対応するための臨時交付金事業(下記内容)を可決しました。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業		
事業名	事業費	交付金充当額
物価高騰対策上毛町商品券事業	1億1307万円	9143万円
社会福祉施設等物価高騰対策事業	1106万円	774万円
私立保育所光熱費緊急対策支援事業	19万円	7万円
私立保育所給食材料費緊急対策支援事業	177万円	84万円









さん だ とし かず  
**三田 敏和 議員**

## 加工技術の支援を産学官でやっては

**町長** 未来に向け非常に大切と考える

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし



▲毎年お米グランプリ金賞の米でオコメールを制作

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

**町長** 水源地の持つ多面的な機能も含めブランディングし

たか にし まさと  
**高西 正人 議員**

## ラジコン草刈機等の導入の検討は

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい



**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

**建設課長** 現時点での導入は難しい

### 中山間地の課題解決は

**中山間地域の河川堰、水路の数及び状況の把握は。**



**中山間地域の河川堰、水路の数及び状況の把握は。**

**中山間地域の河川堰、水路の数及び状況の把握は。**



**建設課長** 現時点での導入は難しい



**建設課長** 現時点での導入は難しい

# 誰のための議会か？

## 福岡県町村議会議長会研修会

岩花 寛之

出席者：荒牧議長、茂呂議員、三田議員、宮崎議員、宮本議員、廣崎議員、岩花議員、高西議員、大石議員、渡辺議員

1月9日(金)、福岡県町村議会長の研修会で会津若松市議会の元議長、目黒正三郎氏の講演を拝聴しました。同市議会は議会改革の先進自治体としても有名で、「市民のために機能する議会」を目指し、全国に先駆けて議会改革に取り組んできました。その根幹にあるのは、議会を行政の追認機関から脱却させ、市民の意思を的確に反映し、政策形成に主体的に関わる機関へと転換するという考え方です。

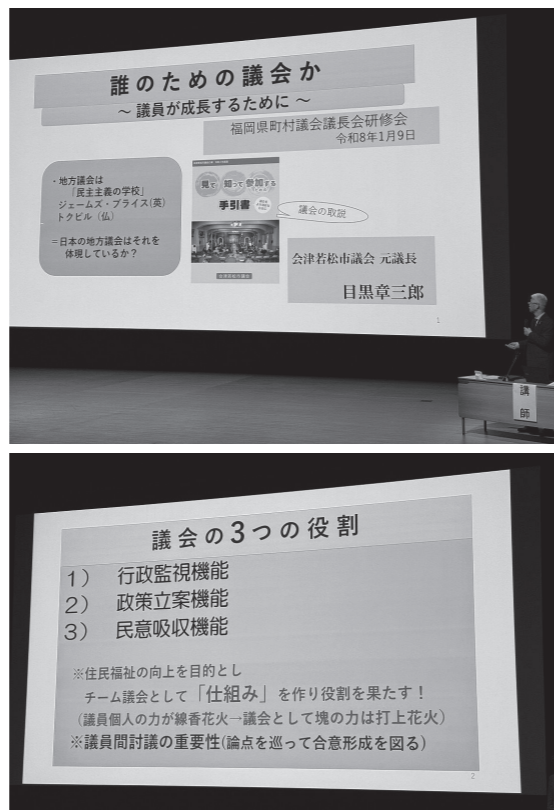
その象徴的な取組が「議会基本条例」の制定であり、議会の役割や責務、議員の活動原則を明文化することで、議会運営の透明性と説明責任を図り、住民に開かれた議会づくりが進められております。

今回の講演を受けて、「誰のための議会か」という本質的な問いについて深く考えさせられました。

講演では、住民福祉の向上を目的としたうえで、①行政監視機能、②政策立案機能、③民意吸収機能の3つを十分に発揮することで住民にとって真に価値ある議会運営が実現できると言われました。また、これらの機能を個々の議員の活動ではなく、「チーム議会」として組織的に発揮していくために必要なのが議員間討議であり、単なる意見表明にとどまらず、論点を整理し、合意形成を図るプロセスの重要性が強調されておりました。議員間討議を通じて多様な視点を融合し、より質の高い政策提言につなげていくことが、議会の価値を高めることにつながるものと感じました。

一方で議員同士の意見交換の機会はやや限られており、委員会や議会としての提言活動についても今後さらに充実させなければならない状況にあります。少子高齢化の進展により財政的にも人的にも厳しい状況の中で、議会にも難しい判断が求められております。こうした時代においてこそ、議会がその役割を果たし、行政と適切な緊張関係を保ちながら、より良い方向性を示していく必要があると考えます。

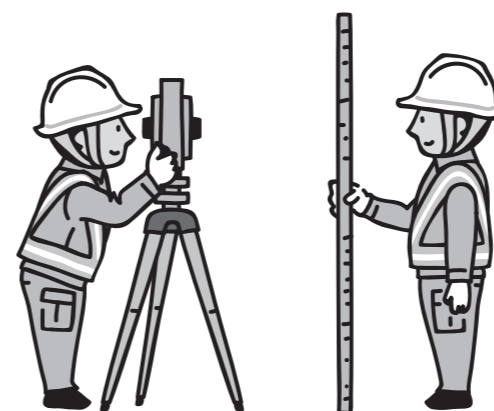
今回の研修を通じ、議会本来の役割を改めて認識するとともに、上毛町議会としても議会力の向上に向けた取組を進めていく必要性を強く感じました。今後は、議員間討議の充実や政策提言機能の強化を図り、「誰のための議会か」という問いに対し、住民のための議会であると胸を張って言える議会運営を目指したいと思います。



## 田中 唯登志 議員

### 技術職員に対する育成は

#### 建設課長 経験による知識を持って指導



**基礎的な研修は、建設課長 異動により未経験の職員が建設課に配属となれば、同様の基本的な研修を受講する。また、新たな業務を担うことになった職員は、同様の専門研修を受講する。**

**円基本的な研修は。建設課長** 建設課のような測量、設計、現場管理の業務を担当職員は、国土交通省、福岡県、土木技術支援・橋梁長寿命化支援などを業務としている公益財団法人福岡県建設技術情報センターが開催する研修に参加している。

**円新たな業務とはどんなものか。建設課長** 町道に架かる橋梁の長寿命化修繕計画に基づく橋梁点検を行っている。委託業務として点検を発注する橋梁もあるが、職員が点検を行う橋梁もある。福岡県建設技術情報センターが、年に一度開催する専門的な研修に参加している。

**円測量・設計・積算については、建設課長 積算については、以前は歩掛をもとに積算していたが、現在は積算システムを導入している。測量と設計については、現場で経験を重ねることが重要である。**

### 電子入札の導入は

**円県下における電子入札導入の状況は。総務課長** 令和7年6月1日現在で、試行導入を含め33自治体、55%が導入済みとなっている。

**円導入した場合のメリット・デメリットは。総務課長** 事業者側の主なメリットは、自分のパソコンから仕様書のダウンロードや入札額の入力などが可能となり、仕様の受け取り、開札の立会が不要となり、移動コストの軽減、時間的拘束がなくなる。発注者側のメリットは、開札手続きなどの事務の効率化、人的ミスの軽減などを図ることができ、事業者側の主なデメリットは、入札を行うためのインターネット環境及び電子証明書が必要になる。発注者側のデメリットは、システムの運用経費が必要になる。



**円運用開始時期は。総務課長** 令和8年7月から試験運用を開始する予定である。順次広げていき、予定では、令和9年4月1日から全面施行したいと考えている。